

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 29 日 (2013.8.29)

【公開番号】特開 2013-133949 (P2013-133949A)

【公開日】平成 25 年 7 月 8 日 (2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報 2013-036

【出願番号】特願 2011-282886 (P2011-282886)

【国際特許分類】

F 2 4 F 1/36 (2011.01)

【F I】

F 2 4 F 1/36

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 10 日 (2013.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明に係る空気調和機の室外ユニットは、少なくとも背面側に熱交換器が搭載された底板を有し、該底板に、前記熱交換器の長手方向に沿って傾斜面からなる導水路を設けてその最低部に排水口を設け、前記底板の前面側の長手方向には、上面の長手方向に補強凹部が形成された凸状部を設けるとともに、該凸状部は、長手方向で分割されて、その間に背面側に向かって傾斜する排水経路が形成されているものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも背面側に熱交換器が搭載された底板を有し、

該底板に、前記熱交換器の長手方向に沿って傾斜面からなる導水路を設けてその最低部に排水口を設け、前記底板の前面側の長手方向には、上面の長手方向に補強凹部が形成された凸状部を設けるとともに、

該凸状部は、長手方向で分割されて、その間に背面側に向かって傾斜する排水経路が形成されていることを特徴とする空気調和機の室外ユニット。

【請求項 2】

前記凸状部が断面台形状であることを特徴とする請求項 1 に記載の空気調和機の室外ユニット。

【請求項 3】

前記凸状部を前記底板の前後方向に通水路を隔てて複数条設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の空気調和機の室外ユニット。

【請求項 4】

前記排水経路に対応して、前記凸状部の根本部に該凸状部と一体に補強段差部を設けたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の空気調和機の室外ユニット。